

## 資料1 令和5年度 予算編成方針について

### 1 令和5年度の財政見通し

令和5年度における本市の財政見通しについて、歳入のうち市税では、市民税において、個人所得や企業業績の回復により、一定の増収が見込まれる。一方、固定資産税では償却資産における大規模施設の減価償却により減収になると見込まれるが、市税全体では令和4年度と比較し、若干の増収になると見込んでいる。

また、地方交付税については、去る8月に総務省が示した「令和5年度地方財政収支の仮試算」によると、若干の増になると見積っており地方税を含めた一般財源の総額は、重要課題に対応した行政サービスを安定的に提供できるよう、令和4年度の地方財政計画の水準を下回らないよう実質同水準が確保される見通しとなっている。

歳出については、高齢化の進行等に伴う社会保障関係費の増嵩をはじめ、老朽化する公共施設への対応やDXビジョンに掲げた取組の具現化、さらには、新型コロナウイルス感染症やエネルギー・食料品価格等物価高騰などへの対策が歳出を押し上げる要因になると考えており、令和5年度においても、引き続き、厳しい予算編成になる見通しである。

### 2 予算編成方針

#### (1) 基本方針

限られた財源の中、引き続き、全ての事務事業について、有効性、効率性、優先性等の観点から実績や効果を検証し、真に必要な施策に予算が重点配分されるよう優先順位付けを行うとともに、国・県の補助金を最大限活用するなど、歳入歳出両面から更なる見直しに取り組む。

また、新型コロナウイルス感染症が長期化する中、国が重点施策として掲げるデジタル変革(DX)やグリーン化(GX)の推進など、ポストコロナを見据え、市民生活の向上を図るとともに、本市の更なる成長につなげる施策を戦略的に取り組んでいく。

#### (2) 第3次射水市総合計画のスタート

「第3次射水市総合計画」の将来像に掲げる「いろどり ひろがる ムズムズ射水」の実現を目指し、常に念頭に置くべき4つの「共通の視点」と関連性の高い施策を積極的・効果的に展開することとする。

- ①インクルージョンの推進に関する政策
- ②ニューノーマルへの適応に関する政策
- ③地方創生の推進に関する政策
- ④DXの活用による市民生活の向上及び行政の効率化に関する政策

### 3 予算要求について

令和5年度は、第3次射水市総合計画の初年度となることから、本市が未来世代に選ばれる持続可能な都市として成長・発展していくための予算となるよう、斬新で効果的な事業について要求を受け付けるため、シーリングは設けないこととする。

また、未来に向けて、急速に進化するデジタル技術の活用や脱炭素社会の実現等、市民が幸せを実感することができ、本市の更なる成長の実現につながる施策について特別枠を設け、要求を受け付ける。

#### ● 新たな未来への投資特別枠

##### ① DXの推進

自治体DXの推進やスマートシティの推進に向けた取組、市内企業のデジタル化の支援に関する事業など

##### ② GXの推進

脱炭素社会の実現等、環境にやさしいまちづくりを進める事業など⇒再生可能エネルギー活用事業 など

##### ③ 活力ある地域づくりの推進

地域コミュニティの維持、活性化に関する事業など

##### ④ スタートアップの推進

地域を支える産業の振興や起業の促進に向けた支援等に関する事業 など

##### ⑤ 安心して子どもを生み育てられる環境の更なる充実

子育てがしやすい環境整備を一層推進する事業⇒ソフト・ハード

##### ⑥ 新型コロナウイルス感染症対策及びエネルギー・食料品価格等物価高騰対策

新型コロナウイルス感染症対策やポストコロナを見据えた経済対策、エネルギー・食料品価格等物価高騰対策等へ対応した事業

### 4 予算編成スケジュール(予定)

- |         |             |
|---------|-------------|
| 11月～12月 | 財政課によるヒアリング |
| 1月中旬    | 市長査定        |
| 2月下旬    | 予算(案)の発表    |